

2008 年度

科目名 ゼミナールⅡ	対象学科・学年 人間社 4 回生	担当者 井上 徹
授業テーマ 科学論文へのアプローチ		
授業の概要と目標 卒業研究に向けて、社会調査法や心理統計法などの実証科学的なアプローチを再確認します。さらに各自が取り上げた研究対象に関わる、理論的な背景について理解を深めることをめざします。卒業研究としてまとめ、最後に成果を発表します。		
評価方法 出席状況はもちろんですが、以下の 5 点を重視して評価します。 1. 専門への努力度 2. 仲間への貢献度 3. 理解への意欲度 4. アルバイトとの差し引き度 5. 将来への期待度 (欠席する場合は事前・事後に必ず連絡すること)		
テキスト	著者	出版社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 〔前 期〕 1. ゼミナールⅡへのオリエンテーション 2. 卒業研究への問題提起発表 (1) 内外の研究論文を読み、卒業研究の基礎を固めます。同時に各自の問題提起 3. 卒業研究への問題提起発表 (2) 部分を明確にします。 4. 卒業研究への問題提起発表 (3) 心理学研究 教育心理学研究 社会心理学研究 5. 卒業研究への問題提起発表 (4) 実験社会心理学研究 6. 卒業研究への問題提起発表 (5) Journal of Personality and Social Psychology 7. 卒業研究への方法部分発表 (1) Journal of Social Psychology 8. 卒業研究への方法部分発表 (2) 質問項目や実験手続きを明確にし、調査や実験を行ないます。 9. 卒業研究への方法部分発表 (3) 10. 卒業研究への方法部分発表 (4) 11. 卒業研究への方法部分発表 (5) 12. パソコンを用いた統計解析 (1) 収集したデータを、パソコンを用いた統計解析にかけます。 13. パソコンを用いた統計解析 (2) 14. パソコンを用いた統計解析 (3) 15. パソコンを用いた統計解析 (4) 〔後 期〕 16. 結果分析と執筆へのオリエンテーション 17. 結果分析：個人指導 (1) 18. 結果分析：個人指導 (2) 実験や調査の手法を用いて得られた結果を分析し、論文として完成させます。 19. 結果分析：個人指導 (3) 20. 結果分析：個人指導 (4) まず行動を起こすこと、質問はいつでも、どんなことでも受け付けます。 21. 結果分析：個人指導 (5) 22. 結果考察：個人指導 (1) 23. 結果考察：個人指導 (2) 24. 結果考察：個人指導 (3) 25. 結果考察：個人指導 (4) 26. 結果考察：個人指導 (5) 27. 卒論全体：個人指導 (1) 28. 卒論全体：個人指導 (2) 29. 卒論全体：個人指導 (3) 30. 卒論発表会 各自の卒業研究の成果を発表します。		